

ユビキタス情報社会基盤研究センター、Sovity 社および NTT データグループと、
データスペース普及に向けた国際ワークショップを開催
～全 5 回の実践型プログラムを通じ、最新技術「DSaaS」による国際連携を推進～

2025 年 6 月 24 日

東京大学大学院情報学環・ユビキタス情報社会基盤研究センター
データスペース技術国際テストベッド運営チーム

東京大学大学院情報学環・ユビキタス情報社会基盤研究センターは、2025 年 2 月から 4 月にかけて、ドイツのスタートアップ企業 Sovity および NTT データグループと連携し、信頼性を確保しつつ多様な主体間のデータ共有を実現する「データスペース」の普及を目的とした国際ワークショップを全 5 回にわたり開催しました。本ワークショップは、同研究センターに設置された「データスペース技術国際テストベッド (ITDT: International Testbed of Dataspace Technology)」の活動の一環として実施されました。Sovity が提供する最新技術「Dataspace as a Service (DSaaS)」を活用し、データスペースの初学者向けにデータスペースの実践的な構築・運用に取り組むハンズオン形式のプログラムが展開されました。また、本プログラムの参加者である国内の研究者・技術者らにより、グローバルなデータ連携の可能性と課題に関する議論が盛んに行われました。

DsaaS とはコネクタ管理、カタログ連携、ポリシー制御、ID 管理など、データスペースの構築・運用に必要となる機能をマネージドサービスとして提供する仕組みです。本ワークショップを通じて、Sovity の DSaaS の操作方法やユースケースの構築手法について理解を深めるとともに、同社のサービスに限らないデータスペース関連サービス全体の日本国内における在り方、展望についても活発な意見交換が行われました。特に、以下の 3 つの知見をテストベッド参加者間で共有する成果が得られました。

1. GUI 操作による学習コストの低減とデータスペース普及への貢献

本ハンズオンの GUI ベースの操作により、データスペース上でのデータ交換を画面上のボタン操作で完結できることが確認されました。これまでもオープンソースコミュニティから提供されてきたデータスペース関連の参考実装はありましたが、その多くは Linux の基礎知識やコマンドライン操作が必要とされていました。しかし、それらを必要としない点は、新規ユーザの学習コストを大幅に低減することが分かりました。Sovity 社の DSaaS に限らず、GUI の提供による初期学習コストの低減は、データスペースの普及促進に寄与する要素となると考えられます。

2. SDK の活用によるアプリケーション統合の加速

Sovity がオープンソースで公開している SDK¹のように、アプリケーション開発者が扱いやすい SDK により、データスペースとアプリケーションとの統合が容易になることが分かりました。これにより、アプリケーションレイヤを含む多様なユースケースの実装が加速される可能性があります。一方で、現時点で Sovity が提供している SDK は Eclipse Dataspace Components(EDC)²向けのものに限られているように、他のデータスペース関連ソフトウェアでは SDK が未整備なケースも多く見られます。こうした SDK の提供は、今後ユースケースとデータスペースを結びつける鍵となり得る重要な要素であると考えられます。

3. データスペース利用者・提供者それぞれの視点からの価値評価

データスペース上でデータ交換などの業務を行う「データスペース利用者」、および、これらの業務を支える機能を整備・提供する「データスペース提供者」の双方の視点から、Sovity を含む DSaaS の価値について意見交換を行い、以下のような知見が得られました。

- ・**データスペース利用者にとっての価値**：セキュリティ対応やインフラ構築などを DSaaS が担うことで、本来の業務であるデータ交換に集中できる環境が提供される点。
- ・**データスペース提供者にとっての価値**：視覚的な契約・モニタリング・ユーザ管理などの機能を標準的な構成で提供できることにより、効率的かつ柔軟な運用が実現可能となる点。

今後も ITDT では、トレンド技術の紹介、ハンズオンセッション、教育コンテンツの整備、アプリケーション統合を含む実証実験を通じて、オープンかつ持続可能なデータエコシステムの形成に貢献していく所存です。データスペースに関心をお持ちの企業・団体・研究者の皆様におかれましては、ITDT へのご参加を、心よりお待ちしております。

	実施日	内容
第1回	2025年2月27日	「データスペースポータル」の使い方 ・ Dataspace as a Service の中核である「データスペースポータル」とは ・ データスペースポータルを用いた基本操作方法
第2回	2025年3月6日	データスペースポータル上でのデータ交換 ・ アーキテクチャとデータ転送の基本原則 ・ ポータル上でのデータ交換実践 ・ 自作 EDC コネクタの Sovity Portal への登録方法
第3回	2025年3月18日	コネクタを活用したユースケースの構築方法 ・ アプリケーションアーキテクチャのパターン ・ コネクタの活用方法 ・ バックエンドアプリケーションへの統合手法

第 4 回	2025 年 4 月 14 日	参加企業間での疑問点の共有と議論（日本企業限定） ・ Sovity DSaaS の実装レベルでの疑問点、改善案共有 ・ Sovity DSaaS に閉じない日本国内でのデータスペース関連サービス全体の在り方に関する議論
第 5 回	2025 年 4 月 21 日	Sovity 社への QA セッション ・ 技術面・ビジネス面での深掘り質問の実施

2025 年 6 月 24 日

Sovity 社 Dataspace as a Service 体験デモ サポーター

八木拓馬(ITDT 参加者、NTT データグループ技術革新統括本部)

¹ SDK(Software Development Kit): ソフトウェア開発を支援するツール群の総称。API やライブラリ、ドキュメントなどが含まれる。

² Eclipse Dataspace Components(EDC) : Eclipse Foundation が主導する、企業や組織が安全にデータをやり取りできる「データスペース」を構築するための、オープンソースのソフトウェア基盤の 1 つ。国際標準に沿ったデータ共有機能を備える。